

平成30年度体育保健課取組の方向

熊本県教育庁教育指導局体育保健課

スポーツによる人が輝く豊かなくまもとづくりを目指し、ライフステージに応じたスポーツ機会の創造を図り、魅力あるスポーツ環境づくりを進めるとともに、児童生徒が、自ら運動に親しみ、体力を高め、健康で安全な生活のできる資質や能力を育成する。

〈重点努力目標〉

- 1 児童生徒が、自ら運動に親しみ、体力を高める資質や能力の育成を図る。また、全国高等学校総合体育大会の開催に向けた取組の推進を図る。**

豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力を育成するため、体育、保健体育の授業を一層充実させるとともに、学校の教育活動全体を通じて体力の向上を図る。

また、練習日・時間等を示した「運動部活動の指針」、小学校の運動部活動の社会体育への移行等を示した、「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」を基に、適正な運動部活動及びスポーツ活動の推進を図る。

平成31年度全国高等学校総合体育大会の開催に向けた取組の推進を図る。
- 2 児童生徒が、自ら心身の健康の保持増進を行うことができる資質や能力を育成するとともに、保健管理及び給食管理の徹底を図る。**

心身ともに健康な生活習慣を形成するため、家庭や地域社会との連携を図りながら、学校の教育活動全体を通じて健康教育を推進する。

また、食育・学校給食については、心身の健康や自然の恩恵・勤労等への感謝、食文化などの観点から、教科等と学校給食を関連させた系統的な指導の充実を図り、学校給食の手引きを活用した給食管理に努める。
- 3 児童生徒が、自ら安全に行動し、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成するとともに、安全管理の徹底と組織活動の推進を図る。**

学校安全教育指導の手引き及び学校防災教育指導の手引等を活用した、計画的な授業実践に基づく安全教育を推進する。

また、家庭・地域や関係機関との連携による学校防災体制の強化を図る。
- 4 生涯スポーツ社会の実現のため、地域スポーツにおける環境づくりと夢や希望を与えるトップスポーツの推進を図る。**

すべての県民が、「する・観る・支える」スポーツをとおして、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合うことができる環境を整える。

また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等の国際大会や全国大会等で活躍するトップアスリートと優秀な指導者の育成に努めるなど、熊本地震の被災者をはじめ県民に夢や希望を与え、地域の活性化に寄与するスポーツの振興を図る。
- 5 県立スポーツ施設の復旧に取り組むとともに、整備・充実を図る。**

熊本地震からの復旧に取り組むとともに、県立スポーツ施設が、中核スポーツ施設としての機能を発揮し、さらに県民が利用しやすい魅力ある施設となるよう適切な管理運営と施設・設備の整備・充実を図る。

また、熊本武道館及び藤崎台県営野球場の今後のあり方について、関係機関等と連携の上、調査、検討を進める。